上り口説（ぬぶいくどうち）

本調子

たびぬんじたちくぁ

工 四 乙 四 尺工 四 乙 四 合尺 工 五 七 五 工

んぬんどーしんていくぁんぬんふしうがでい

尺 工 五 工 尺 上 老 上 尺 工 合尺工 五 工 尺 四

くがにしゃくとうていたちわかる

合尺工 五 四 乙 合 尺 合 乙 四 上 四 工 四 乙 四

むゆるちむりわゆをがしまさだぬ

合尺工 合尺工 五 七 五 工 尺 工 五 工 尺 上 老 上

さちにはヰならでぃえヰありにみゆる

尺 工 合尺工 五 工 尺 四 乙 合 老 五 尺 五 七 五工

わうかヰむんふじにみまごさくら

尺 工 五 工 尺 四 合尺工 五 四 乙 合 尺 合 乙 四

じま

上 四

一、旅ぬ出立（んじたち）観音堂（くぁんぬんどー）千手観音（しんていくぁんぬん）
伏拝（ふしうが）で黄金酌取（くがにしゃくとう）ていぬ立別る

二、袖（すでぃ）に降る露押払（ちゆうしはら）ひ大道（うふどーまつばら）松原歩み行けば八幡崇元寺（すーぎーじ）

三、見栄地高矼（みーいじたかはし）打渡（うちわた）ていぬ袖につらねていぬ諸人（むるひと）の行（ゆく）も帰るも中ぬ橋

四、沖（うち）ぬ側迄（すばまでぃ）親子兄弟（うやくちょうで）連（ち）りて別ゆる旅衣（ぐるむ）袖と袖とに露（ちゆ）涙

五、船（ふに）ぬ纜（とうむじな）とうくどうくとう船子（ふなく）勇みて真帆（まふ）引けば風（かじ）やまとうむに午末（んまふぃちじ）

六、燃る煙（ちむり）は硫黄島佐多ぬ岬に走並（はしなら）でぃ、エイありに見ゆるは御開門（うかいむん）富士に見紛う櫻島